

《チャイルドラインデータ資料》 2022年度・第4四半期

【集計データから、子どもたちの状況を読み解く】

特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

《今期のポイント》

2022年度は、COVID-19の影響を受け縮小した電話の受信体制が改善したこと、オンラインチャットの受信体制を強化したことから、着信率が年度後半に向かうにつれて上昇傾向となり、3月に50%を超えました。

(P5)

今期は、前四半期（2022年10月～12月）に比べて「自分自身」の割合が高くなっています。（前四半期「自分自身」：45.3%）受験や卒業を控え、自分自身の進路・生き方について考えることが多かったのかもしれません。前年同四半期との比較では、「性」が増加しています。（P9）「性」については、2022年度年間を通して、昨年度より割合が高くなりました。性への興味・関心や不安、性の多様性も含めて、「性教育」「人権教育」の必要性を感じています。

「つぶやく」の書き込みは、3ヶ月で5,574件。ジャンルでは、「自分のこと」「学校のこと」が多くなっています。（P14）

今期のテーマは、「不安」です。子どもから寄せられる気持ちの中で、今期最も多かったのが「不安」（P11）で、年間を通して多くなっています。今回は、2022年度の年間データから考えました。

【子どもの声】※個人が特定されないようプライバシーに配慮して再構成しています。

▶おばあちゃんがコロナになって入院した。お見舞いにも行けないし、もし死んじゃったらどうしよう。お母さんにうつってたらどうしよう。☆

▶お母さんが入院して私と姉がおじさんの家に住むようになった。そしたら姉がおじさんから性的虐待をされているのを見てしまった。こわい。お母さんと元の家に戻りたい。

▶コンビニで万引きしたところを人に見られたような気がする。おばさんがこっちを見てたから、お店の人に言いつけて、警察に捕まるんじゃないか。親に知られちゃうんじゃないか。☆

▶体は男なんだけど、男子を好きになる人っていますよね？ふつうに友だちだと思ってた人から告られた。自分は全然そう思ってなかったから、どうしたらいいのかわからない。

▶子どもの精神病が増えているのは、スーパーで売っている食べ物に入っている化学物質のせいなんですよ。なんで取り締まらないんですか？

▶母親が発達障害の一種で、夜仕事から帰ってくるといつもお酒を飲んでどなり散らす。私は怖いから寝ちゃうしなくて、朝起きると部屋がぐちゃぐちゃになってる。ゴミ家になっててイヤだ。

▶親友と同じ学校に行きたくて一緒に受験したんだけど、自分は落ちちゃった。私は学校が別でもこれからもときどき遊びたいのに、親友はこのごろ冷たくなった。さびしい。

▶好きな先生にバレンタインチョコをあげたこと、友だちにだれにも言わないでって約束したのに、ほかの子たちに言いふらした。裏切られた。悲しいです。

▶成績が悪いから、今度いい点を取らないと進級できないと言われて、がんばらなきゃいけないのに、ゲームをやっちゃって、勉強が進まない。明日から試験があるけど、またダメなんじゃないか。☆

▶最近体の中がスースーして空っぽなんです。でもオーバードーズするとまだいけるかなって思える。ODに救われてると思う。

（☆：今期のテーマ「不安」な気持ちの声）

《第4四半期のテーマ「不安」》

子どもからの「不安」の気持ちを訴える声は、常に届いています。今回、この不安をテーマにしてデータ集計を行ってみました。

2022年度の会話成立の中で「不安」の割合は約15%となっています。そのうち、多くは「自分自身のこと」や「性」、「学校」のことが多くを占めています。「不安の内訳・背景」については、以下のグラフと解説のとおりです。

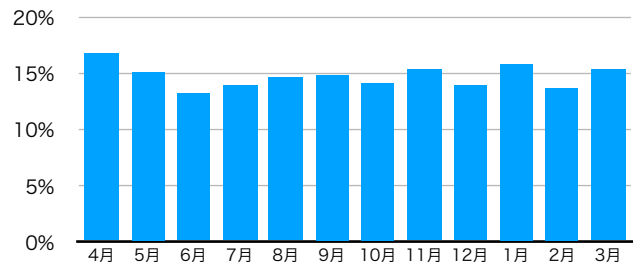
◆会話成立・家庭を分母にした「不安」割合

会話成立の中の気持ち「不安」の月別割合です。

2022年度は4月、1月など、他の月と比べてやや高い月がありますが、大きな変動とまでは言えません。

一年通じて「不安」の声が上がっている、と受けとめていくことに意味があるのではと考えられます。

気持ち「不安」の22年度割合（分母・会話成立）



◆「不安」の内訳・主訴項目

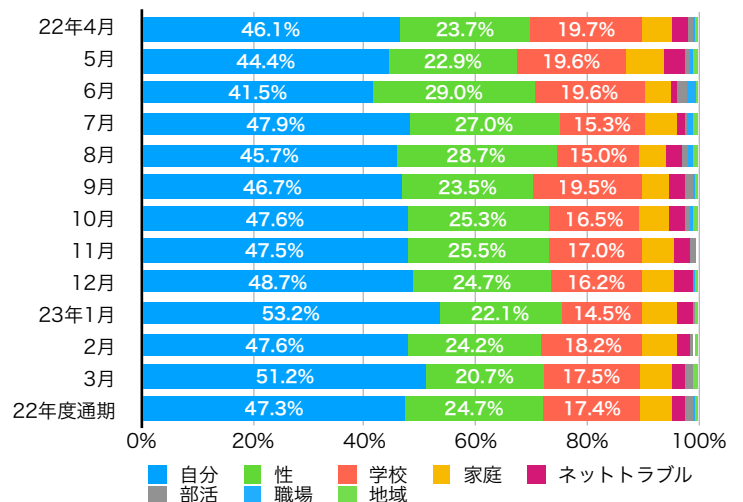
通期の割合を見ると、自分、性、学校の順となっています。月別では、どの項目も大きく変動していませんが、やや気になる月があります。

「自分」で通期割合よりも高い月は、1月と3月で、全体的に月が進むにつれ高くなる傾向にあります。

「性」は大きな変動は少ないですが、やや6～8月にかけて通期よりも高いです。

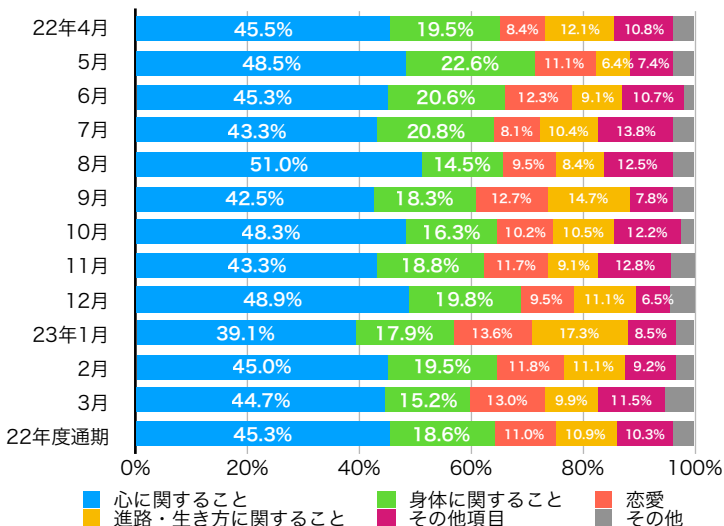
「学校」は4～6月、9月にやや通期よりも高い割合となっています。

「気持ち・不安」に絞った「主訴」内訳 割合



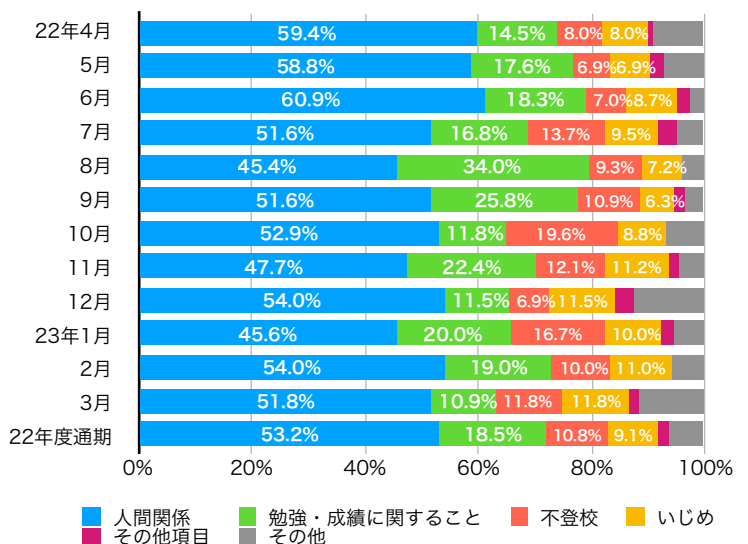
◆「不安」の内訳・主訴「自分自身」の詳細

「気持ち・不安」に絞った「主訴・自分自身」の内訳割合



◆「不安」の内訳・主訴「学校」の詳細

「気持ち・不安」に絞った「主訴・学校」の内訳 割合



◆前ページグラフの解説

不安の「自分自身」の詳細グラフについてです。

通期は、心に関することが一番高い割合で、次に身体に関すること、恋愛の順になっています。

「心に関すること」は、8月、10月、12月がやや割合が高くなっており、逆に1月は下がっています。

「身体に関すること」は、5月にやや割合が高いものの、逆に8月、3月にやや下がっています。

「恋愛」は、変動幅は大きくなく、各月多少の変化にとどまっています。

「進路・生き方に関すること」は、9月と1月に通期の割合よりも高くなっています。逆に低いのは5月でした。

不安の「学校」の詳細グラフについてです。通期においては、人間関係が割合が一番高く、次いで勉強・成績に関すること、不登校の順になっています。

「人間関係」は、4～6月に割合がやや高い傾向で、逆に、8月、11月、1月は下がっています。

「勉強・成績に関すること」は、8月と9月にかなり割合が高くなっています。予測として「夏休みの宿題」問題などが挙げられますが、他の状況も見ていく必要はあるかと思います。

「不登校」は、7月、9月に割合が高く、1月にやや高い、という傾向となっています。背景はさらに探る必要がありますが、「不登校になった」だけでなく、「学校に行きたくない・しんどい」という訴えも含んでいることが関係している可能性もあります。

「いじめ」は、年度の後半にかけて、やや割合が高くなる傾向にあります。

◆「不安」に関する声から

「不安」という気持ちを持つのはどんなときでしょうか。コロナ禍で社会全体が不安に覆われたように、ある種曖昧な、先が見えない、わからない時に持ちやすい感情のように思います。そう考えると、1月は進路や入試が、3月・4月にはこれから迎える新しい環境が不安の要因となっているのではないのでしょうか。

不安の内容は、「自分」の「心に関すること」の割合が高くなっています。特定の何か・誰かではなく、自分の気持ちの問題として本人が捉えているのだと思います。「学校」では「人間関係」への不安が、特に1学期に高くなっています。新しい環境での新たな友だち作りが大きな要因かもしれません。

また、「性」に対する不安も年間を通して20%以上寄せられています。性の話を聴いていて一番思うことは、正しい知識のなさです。今の社会には膨大な情報が溢れています。誤った情報に惑わされないために情報リテラシーも必要ですが、何よりもまずは性教育です。正しい情報・知識を持っていれば、不安になることも、もっといえば、人を傷つけることも、罪を犯すことも減るのではないのでしょうか。

◆「不安」な気持ちを聴くこと

不安な気持ちを聴き、その感情に寄り添っていくと、子どもの心が少し軽くなっていくように感じます。解決はしなくとも、不安でパンパンになっていた心に少し余裕ができ、その余裕分で、不安の元になっていることを見つめ直したり、新たな視点に気付いたりできるかもしれません。

「アドバイスではなく気持ちに寄り添う」チャイルドラインの基本姿勢です。年間を通じて「不安」な気持ちが多く寄せられる理由はここにあるのかもしれません。

《データ資料概要と注意点》

2023年1月～2023年3月のアクセス内容、データベースを集計し分析

チャイルドラインに寄せられた子どもたちの声にどのような傾向があるのか。チャイルドラインにおける“データベース”等を基に、集計しました。

- ・ 期間：《2022年度・第4四半期》2023年1月～2023年3月（速報値）
- ・ データ集計日：2023年4月30日

- ・ 集計数（分母）：

【トラフィックデータ】（発信件数・今回使用したデータのみ掲載）

	10月	11月	12月	3ヶ月計	1月	2月	3月	3ヶ月計
2021年度					40,499	38,949	37,408	116,856
2022年度	39,677	35,367	33,493	108,537	31,910	30,121	30,318	92,349

【データベース】（件数・今回使用したデータのみ掲載）

	10月	11月	12月	3ヶ月計	1月	2月	3月	3ヶ月計
2021年度（全体）					12,529	11,147	13,441	37,117
2022年度（全体）	15,710	14,831	13,153	43,694	13,163	12,965	13,772	39,900
2021年度（会話成立）					3,755	3,869	4,080	11,704
2022年度（会話成立）	4,372	4,108	3,842	12,322	3,930	4,024	4,114	12,068

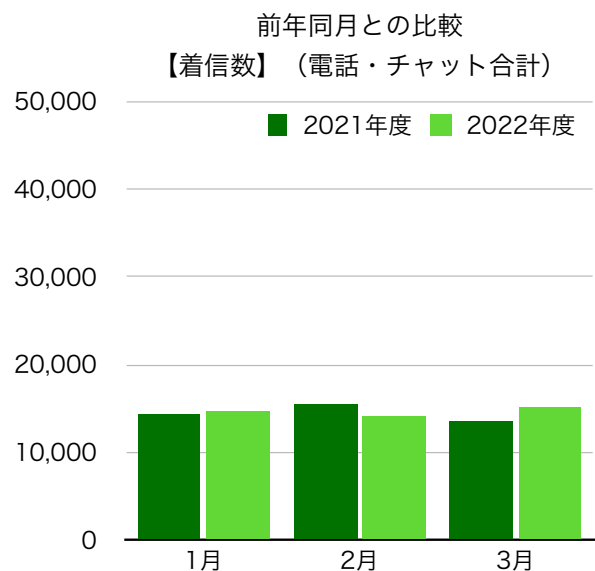
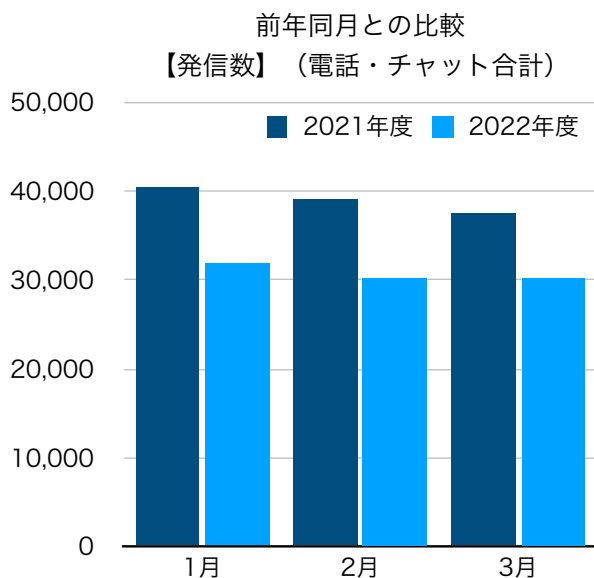
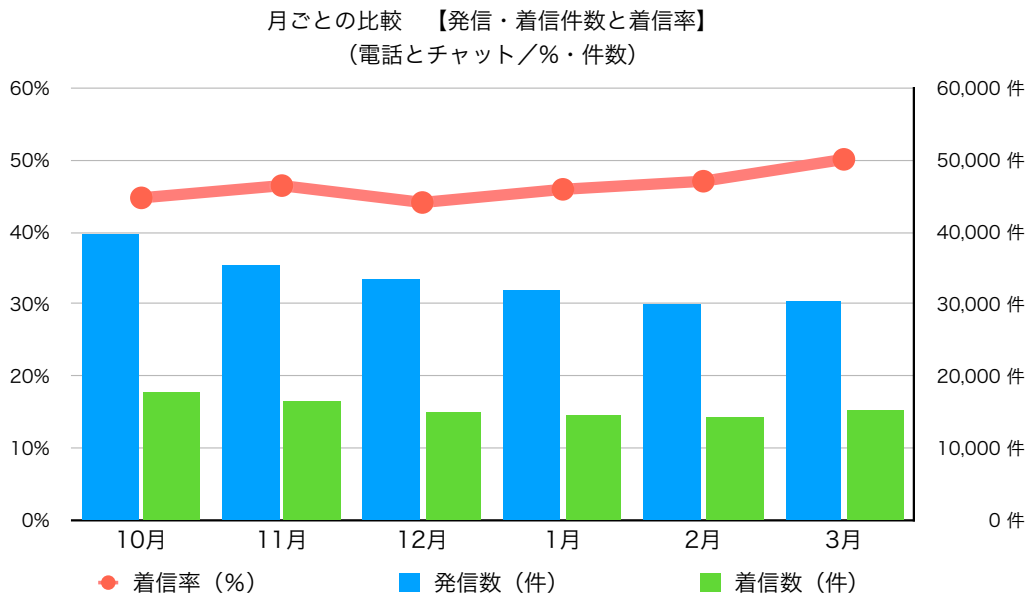
※（全体）は会話成立、会話不成立、無言等を含んだ全体集計数 ※他資料とはデータが異なる場合がある。

- ・ 表記の定義：
 - 「％」＝上記項目の分母（集計した数）の割合
 - 「件」＝データベースに入力されたアクセス・会話件数
 - 「ポイント」＝パーセントポイント（他の％をポイントにして比較）
- ・ データの種類：【トラフィックデータ】電話＝NTTコミュニケーションズ、チャット＝AI.BiSから取得
【データベース】電話・チャット＝「受け手」が感じた内容を子どもが特定できないようプライバシーに配慮し、データベースとして集積
- ・ データの性質：データの誤入力や重複、未入力データがある等、今後、修正が生じる可能性があるため、「速報値」であることを前提として扱う必要がある
- ・ データの注意点：各データの小数点をまとめる際に集計上の誤差が生じるため、グラフのデータと他のグラフデータに数字の違いが生じる場合があります。
- ・ 報道関係の皆様へ：データ・資料について取材、ご利用・ご引用の際は、チャイルドライン支援センター（連絡先最終ページ）までご一報ください。

《トラヒックデータ／発信数・着信数》

トラヒックデータの発信数・着信数は、この3ヶ月では、発信数は1月に多かった。6ヶ月の推移を見てみると、着信率は、3月に50%を超えている。着信数は10月～2月にかけてやや減少した。

前年同月との比較を見てみると、発信数は軒並み減少している一方で、着信数は大きな変化はない。



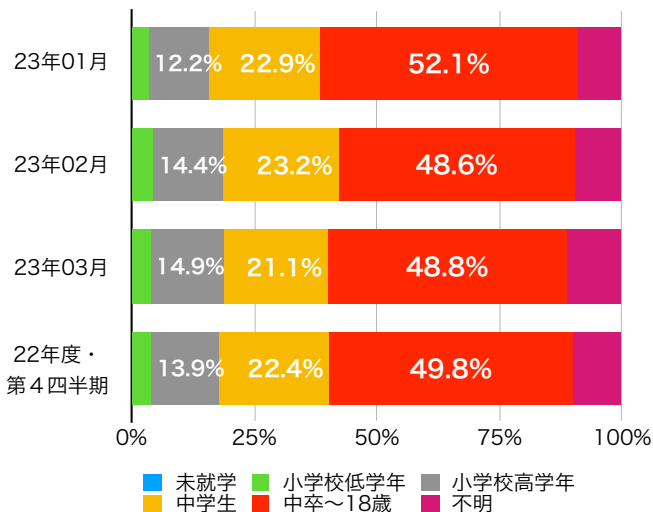
《データベース・年齢（会話成立）》

ここからはデータベースの「会話成立」に絞ったデータを紹介する。まず「年齢」別の集計から。

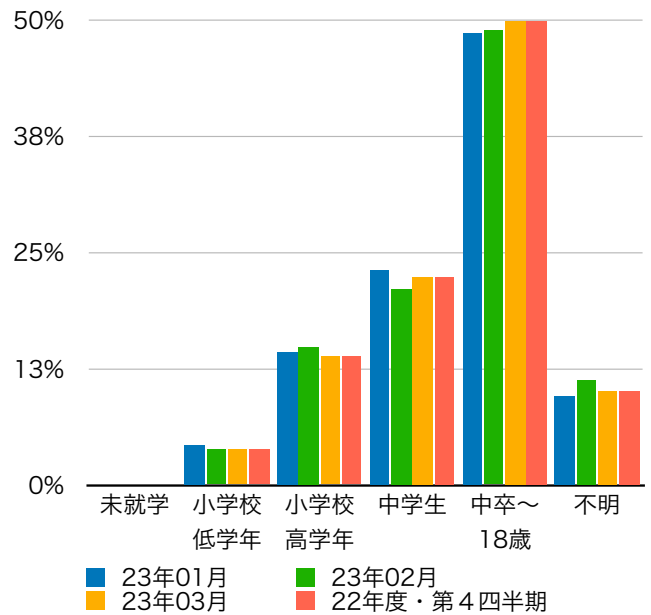
年齢の割合は、3ヶ月通じて高校年齢割合が多く（約5割程度）、月別割合はやや1月に高校年齢が多く小学校低学年・高学年が少なく、2月は中学生がやや多かった。

前年同時期からの増減は、高校年齢の割合が下がり、不明や中学生などが上がった。

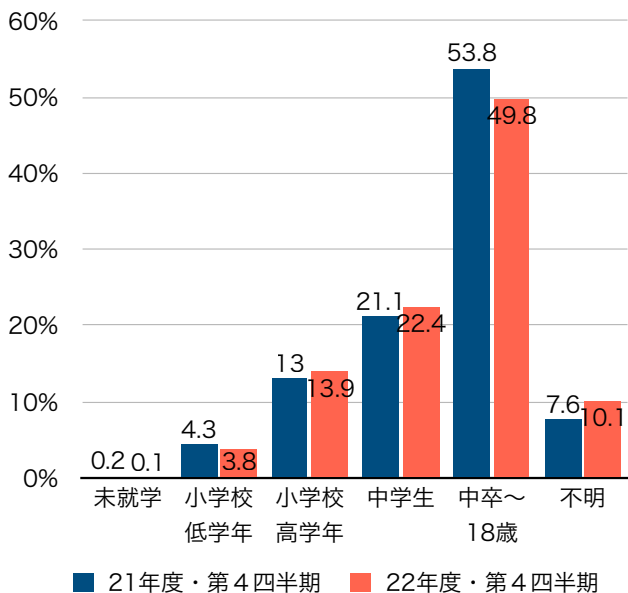
月別・年齢別割合（会話成立）



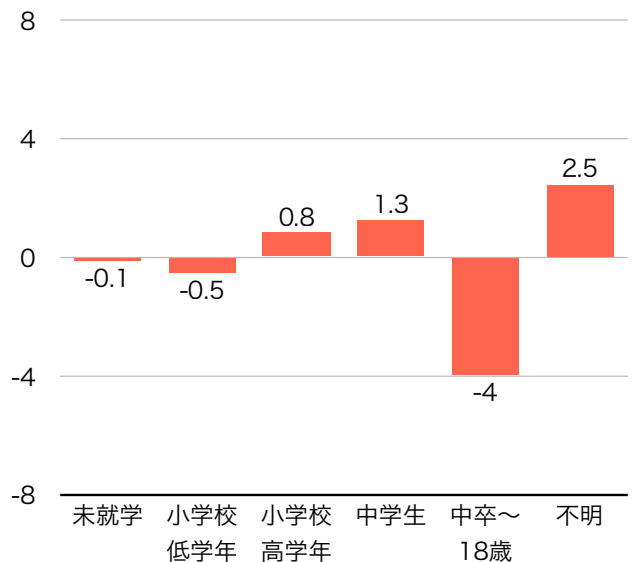
月別割合の推移（会話成立）



前年同月との比較（会話成立）



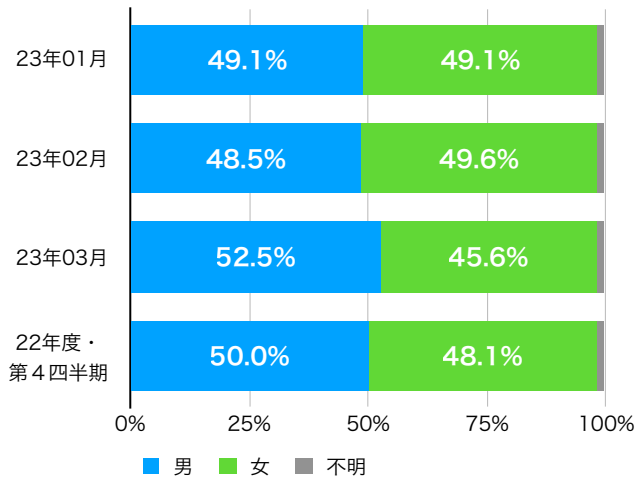
前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）



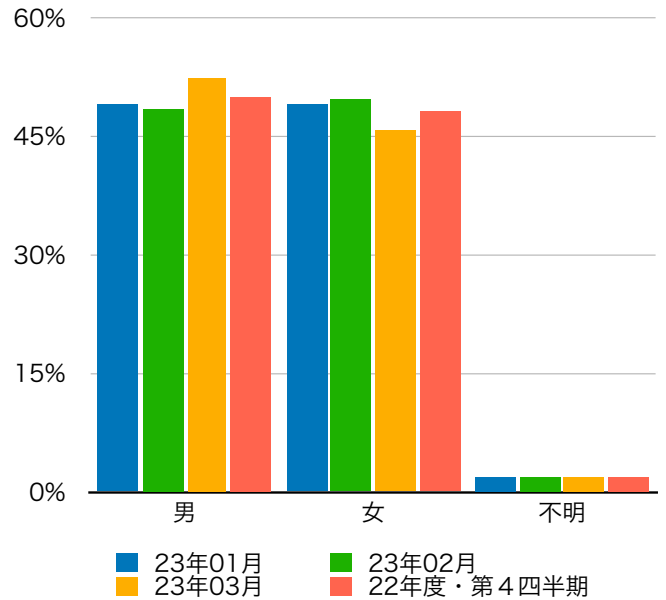
《データベース・性別（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「性別」を集計した。男女ともに割合に大きな変化はない。前年同月との比較では、男性が増加し、女性が減少した。

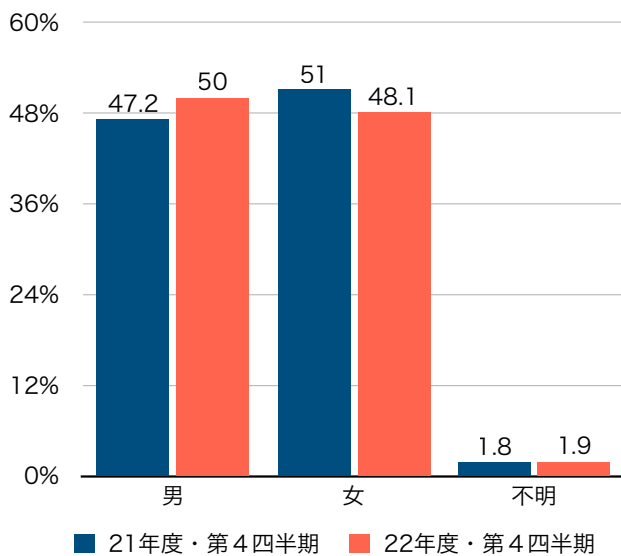
月別・性別割合（会話成立）



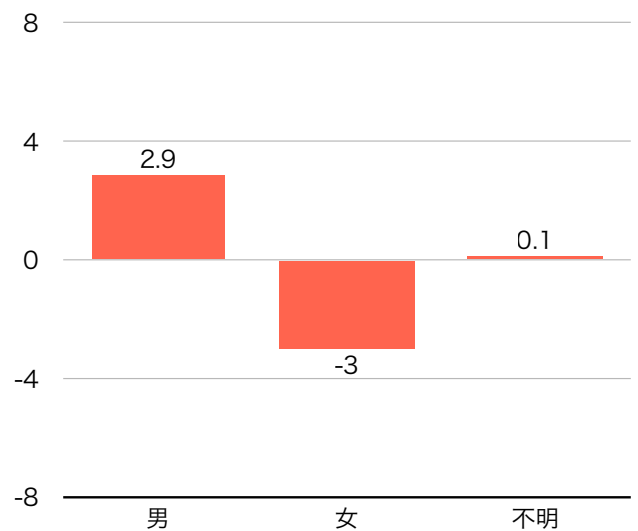
月別割合の推移（会話成立）



前年同月との比較（会話成立）

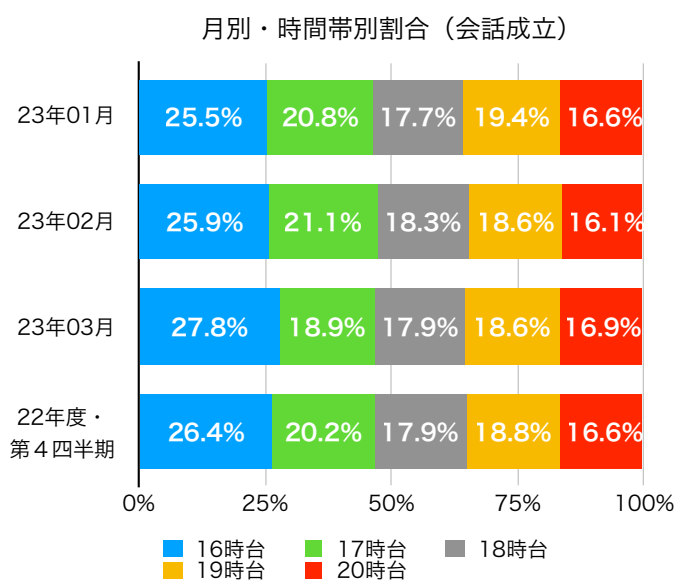


前年同時期（四半期）からの増減
（会話成立・%ポイント）

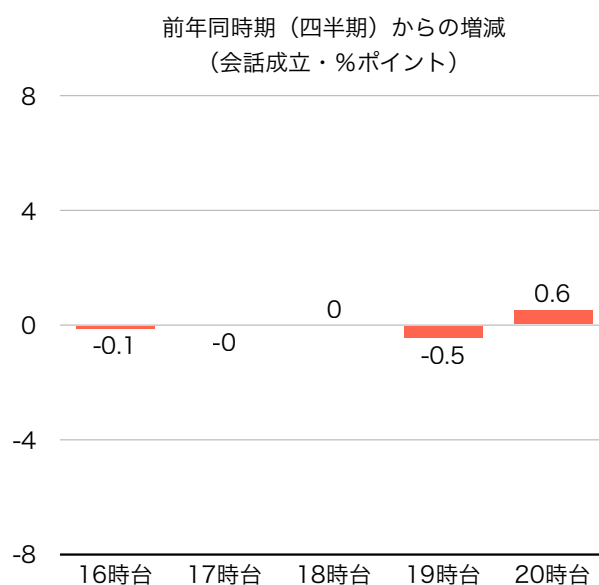
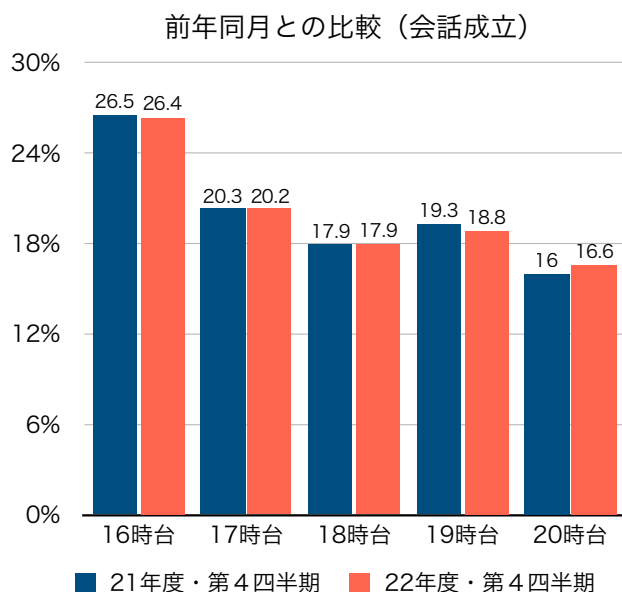
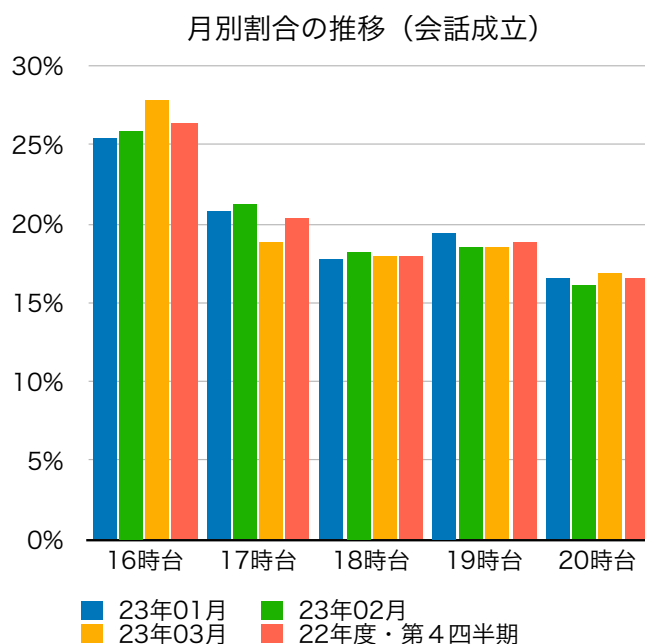


《データベース・時間帯（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「時間帯」を集計した。各時間帯とも特に大きな変化は見られない。前年同月との比較においても、大きな変化はなかった。



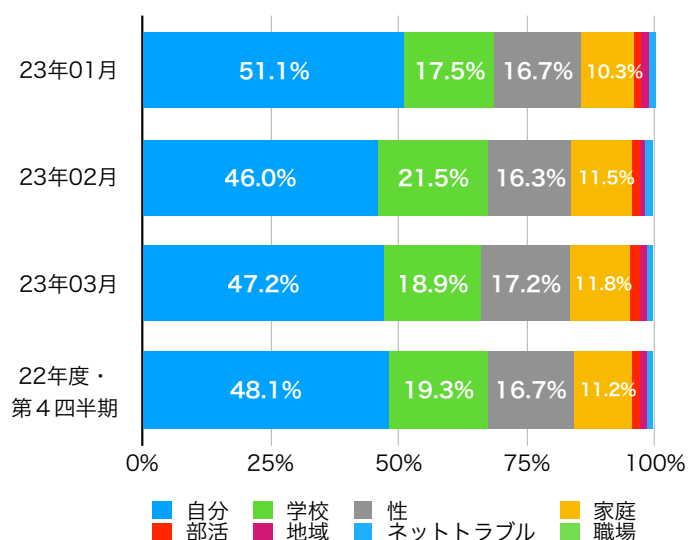
※上記の時間帯も一部集計されているが、今回は除外した。



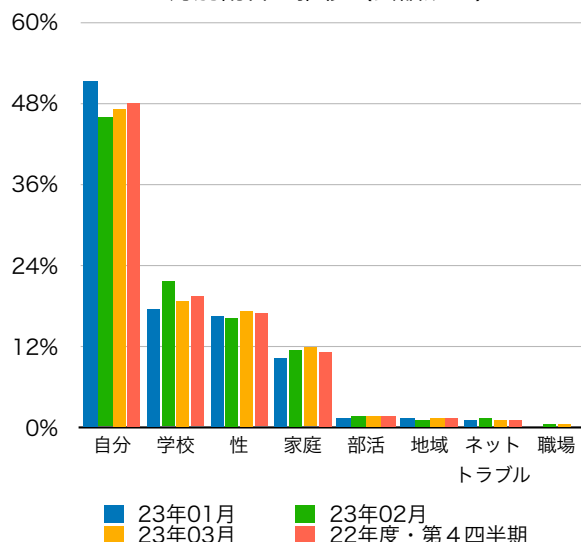
《データベース・主訴【大項目】（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「主訴【大項目】」を集計した。1月は「自分」がやや増加し、「学校」が減少している傾向にあった。前年同月との比較は、「性」がやや増加し、「自分」が減少した。

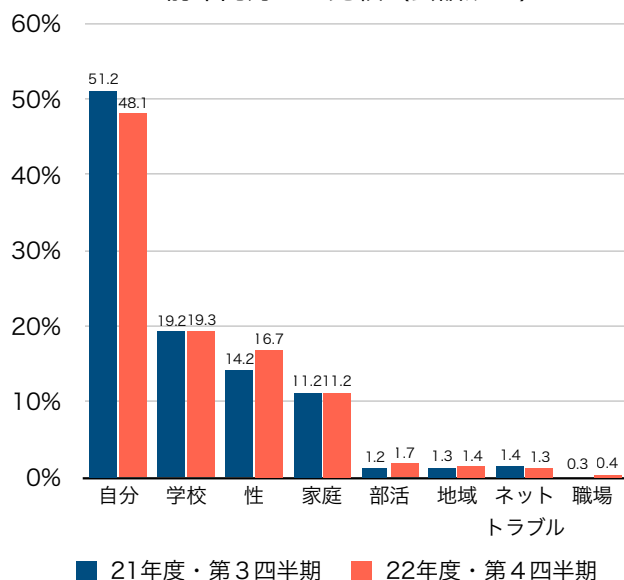
月別・主訴別割合（会話成立）



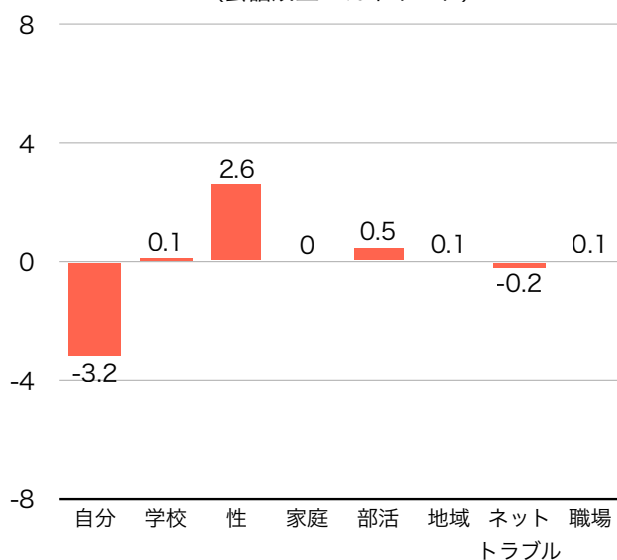
月別割合の推移（会話成立）



前年同月との比較（会話成立）



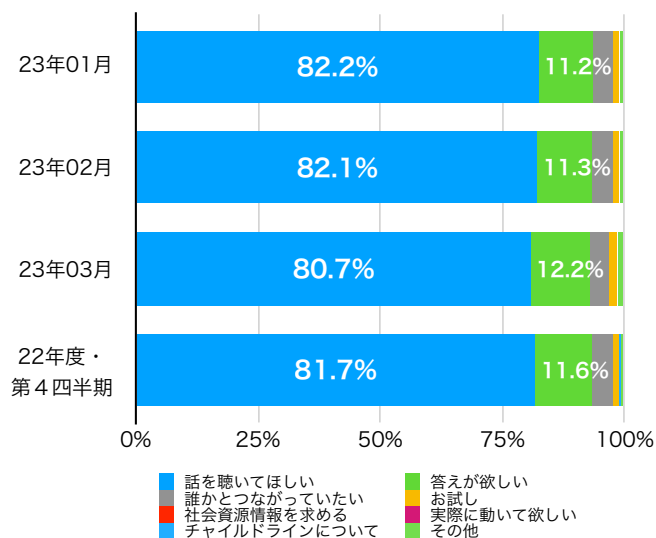
前年同時期（四半期）からの増減
（会話成立・%ポイント）



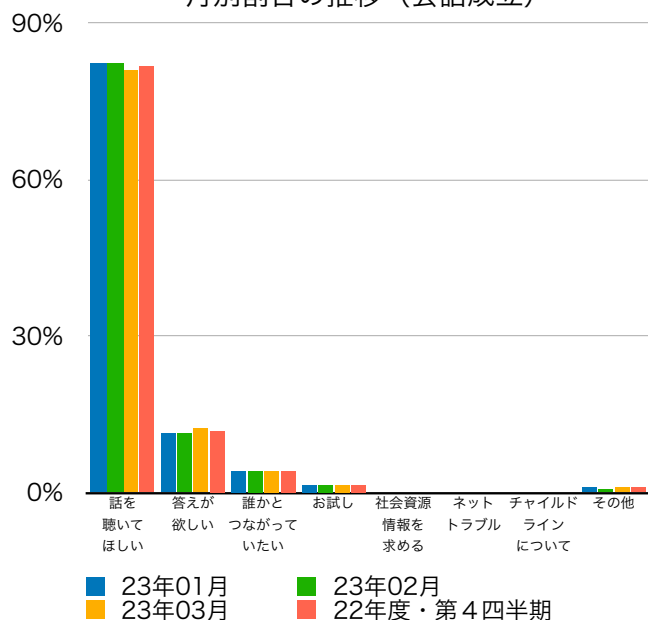
《データベース・動機（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「動機」を集計した。全体として「話を聴いてほしい」が大きな割合を占めている。前年同月との比較は、大きな変化はなかった。

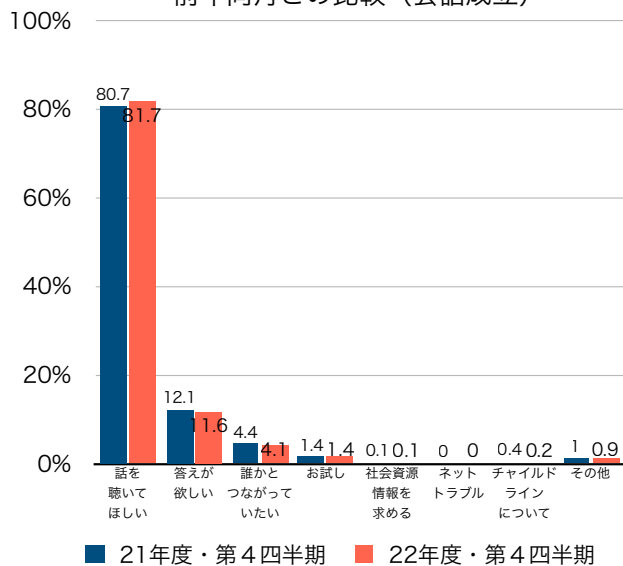
月別・動機別割合（会話成立）



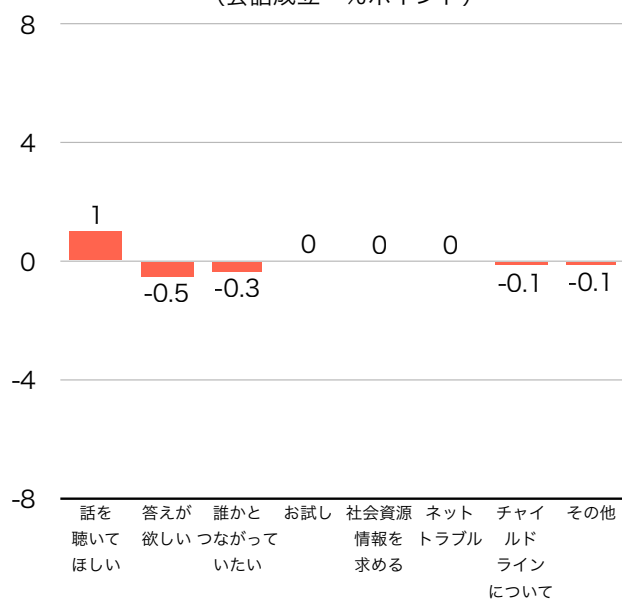
月別割合の推移（会話成立）



前年同月との比較（会話成立）



前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）

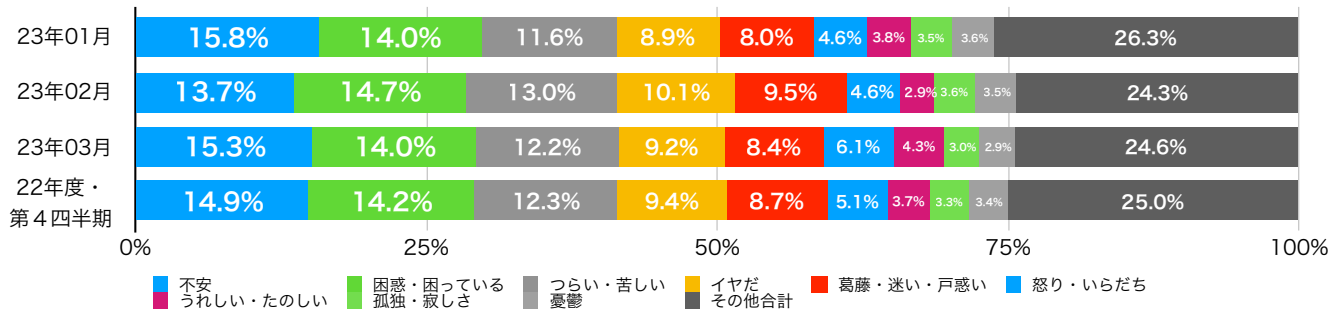


《データベース・気持ち（会話成立）》

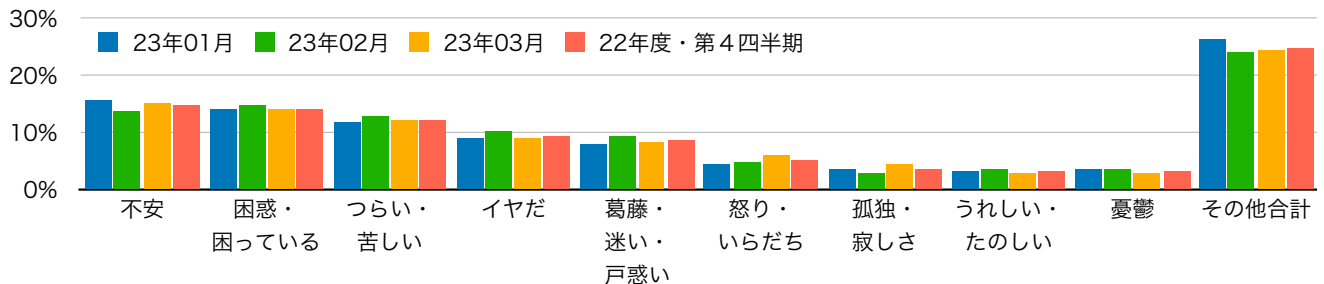
データベースの「会話成立」の中の「気持ち」を集計した。月別割合を見ると、「不安」「困惑・困っている」がやや多いが、2月の項目にやや変化があった。前年同月との比較においては、「その他合計」などがやや減少し、他のいくつかの項目が上昇した。

（※一部、項目において、割合が多い順ではない箇所があるが、前回グラフの割合順に統一して表記した）

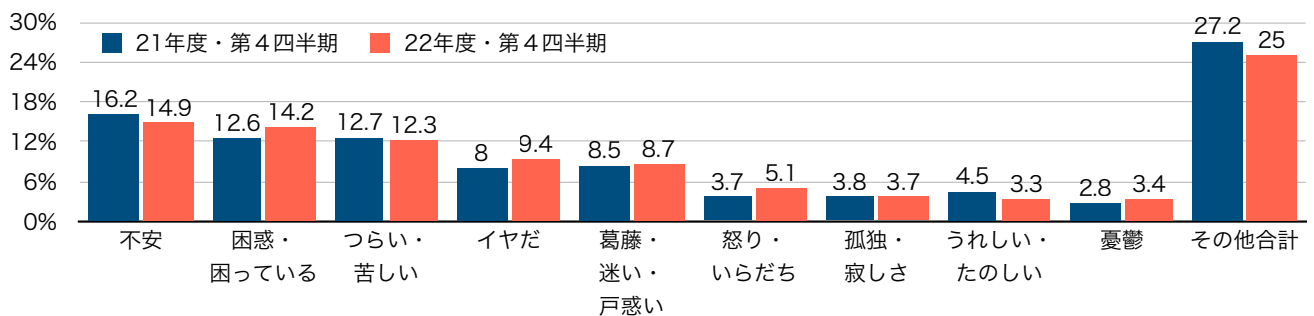
月別・気持ち別割合（会話成立）



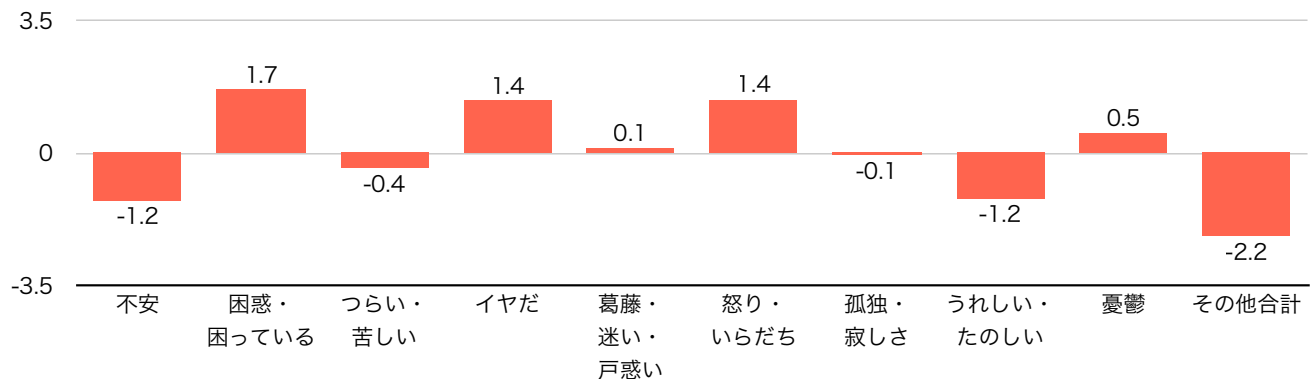
月別割合の推移（会話成立）



前年同月との比較（会話成立）



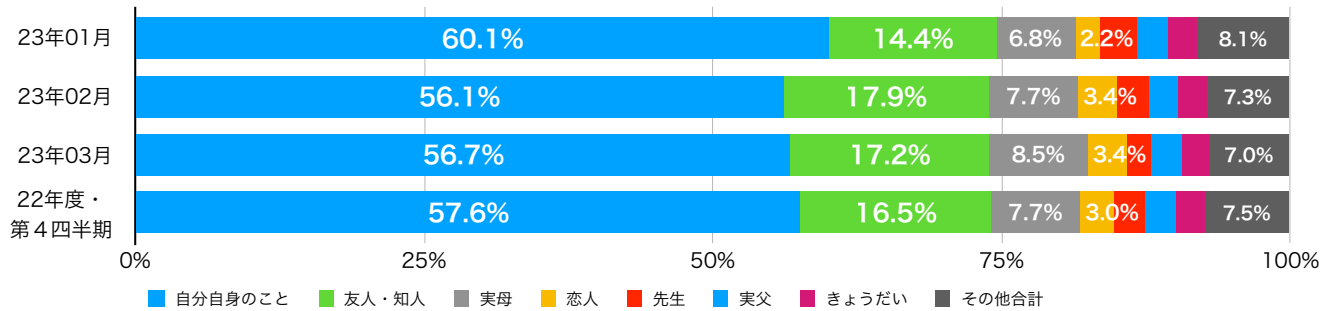
前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）



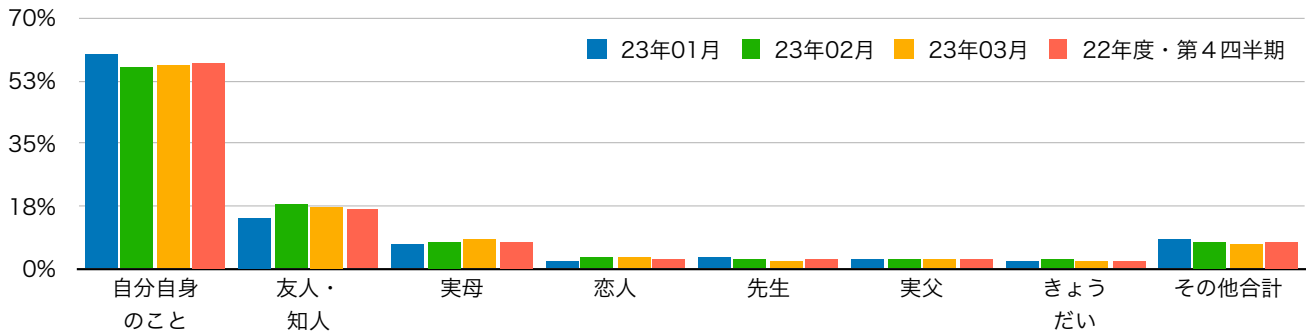
《データベース・関係性（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「関係性」を集計した。全体として「自分自身のこと」の割合が多い。前年同月との比較は「友人・知人」がやや上昇し、「自分自身のこと」がやや減少した。

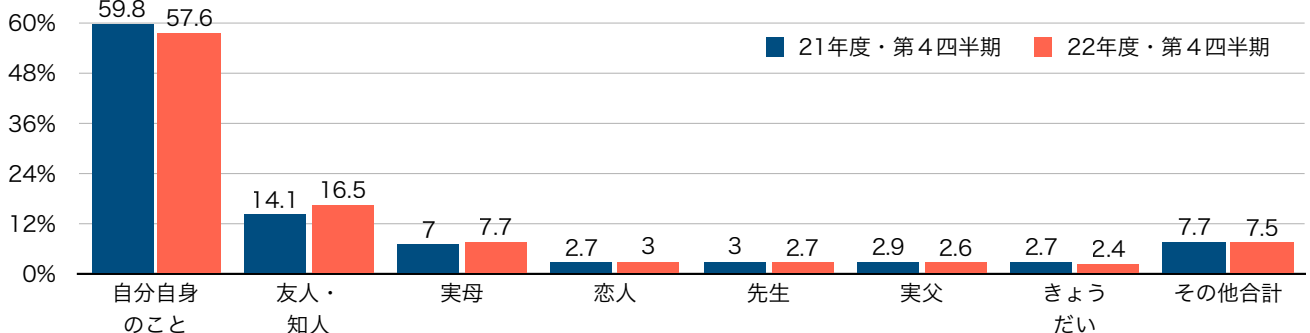
月別・関係性別割合（会話成立）



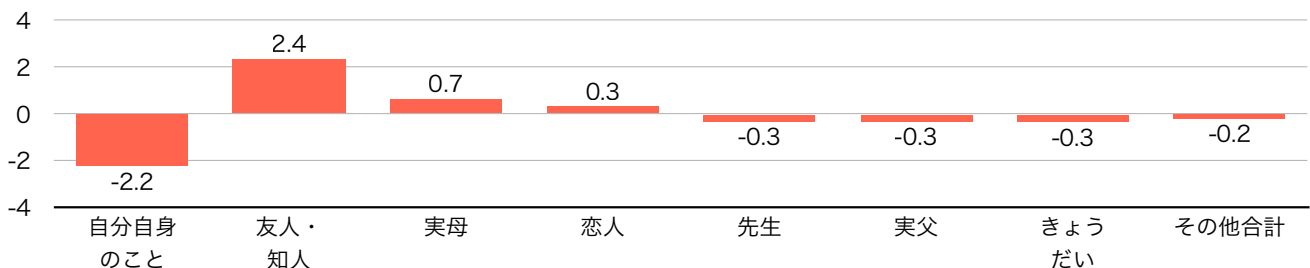
月別割合の推移（会話成立）



前年同月との比較（会話成立）



前年同時期（四半期）からの増減（会話成立・%ポイント）

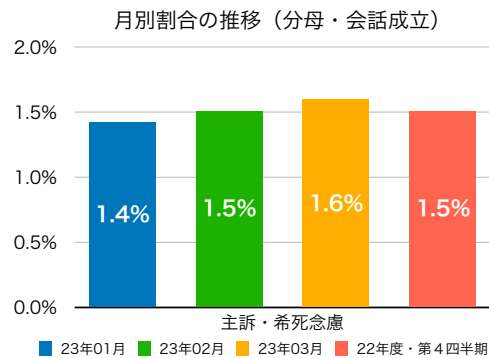


《データベース・「希死念慮を主訴とするもの」（会話成立）》

データベースの「会話成立」のうち、「希死念慮を主訴とするもの」を集計した。集計数が少ないので、参考値。月別割合の推移は、他のページと違い、グラフ数値を拡大している。

希死念慮を主訴とするものの件数

年月	件数
23年1月	56件
23年2月	61件
23年3月	86件
合計	183件

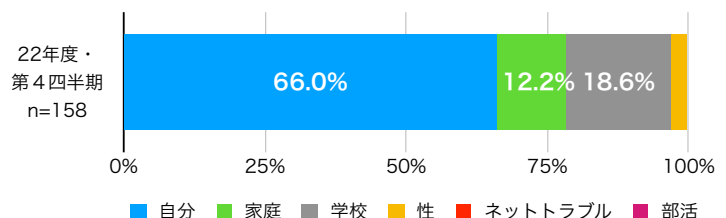


《データベース・「希死念慮が背景にあるもの」（会話成立）》

データベースの「会話成立」のうち、「希死念慮が背景にあるもの」の「主訴」を集計した。各月で僅かな変化はあるが、件数自体が少ないので誤差の範囲と考えられる。また、主訴の割合を見ると、自分、学校、家庭が多い（前回グラフと同じ順番にしている）。

背景に希死念慮がある件数

年月	件数
23年1月	49件
23年2月	58件
23年3月	51件
合計	158件



《「つぶやく」に寄せられた声の傾向》

こちらは、ウェブページ上の「つぶやく」に寄せられた声を集計したもの（属性などは自己申告・記入）。1月から3月につぶやかれた件数は、5,574件。さまざまな内容、性別、年齢の子どもから利用されていることが分かる。

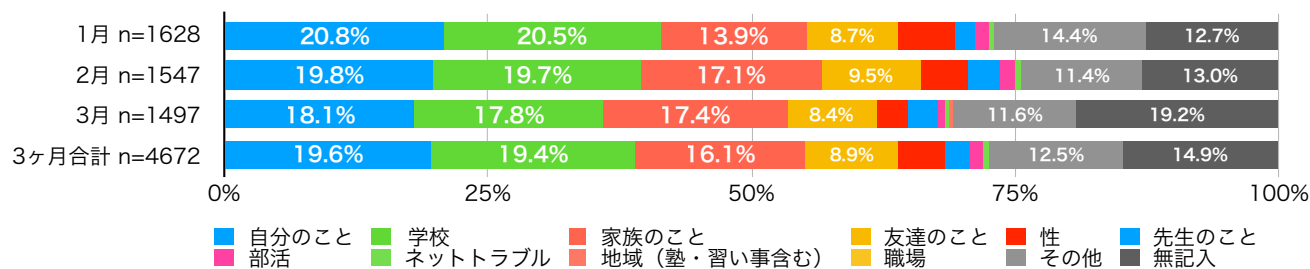
つぶやいた内容のジャンルは、「自分のこと」「学校のこと」「家族のこと」が多く、続いて、「その他」「友達のこと」となっている。続いて、公開してもよい人が記入した性別は、「女性」が圧倒的に多い。また「いいたくない」という回答も2割程度いた。

また、公開してもよい人が記入した年齢は、概ね10歳から14歳ぐらいまでが各8～17%と最も多い。

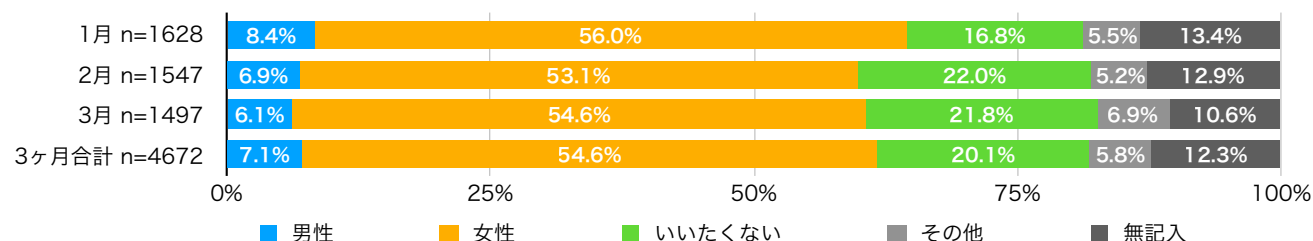
つぶやきに書き込みがあった総数

1月	2月	3月	1-3月計
1,960件	1,885件	1,729件	5,574件

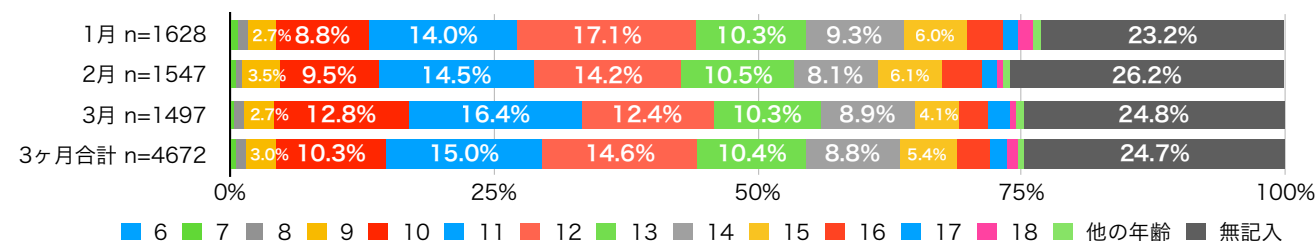
【つぶやく】月別・ジャンル割合（公開してもよい人）



【つぶやく】月別・性別割合（公開してもよい人・自己申告）



【つぶやく】月別・年齢割合（公開してもよい人・自己申告）



【この資料に関する問い合わせ】

作成：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター
〒162-0808 東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル5F
メール：info@childline.or.jp 電話：03-5946-8500
ウェブサイト：<https://childline.or.jp/>